

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	こども家庭福祉	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	子どもへの援助や保護者支援などの現場経験から、保育者に求められる子ども家庭福祉の法制度などの知識について教授する。						
授業のねらい (到達目標)	現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解するとともに、制度や関係機関の実施体制について学びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けながらこども家庭福祉の現状と課題についての考察を深めることで、今後の展望について見極める機会とする。						
授業概要	望ましい保育者となるために、子ども家庭福祉の領域に関する基本的な知識・技術・人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。						
テキスト	「こども家庭福祉」 豊岡短期大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	こども家庭福祉の理念と概念					
	第3回	制度と法体系					
	第4回	少年非行等への対応					
	第5回	子ども虐待とその防止					
	第6回	子どもの人権擁護と現代社会における課題					
	第7回	児童福祉施設や関係機関					
	第8回	こども家庭福祉施設の専門職・実施者					
	第9回	ドメスティックバイオレンスとその防止					
	第10回	多用な保育ニーズへの対応					
	第11回	障害のある子どもへの対応					
	第12回	障害のある子どもへの対応					
	第13回	貧困家庭・ひとり親家庭・外国籍家庭への対応					
	第14回	母子保健と子どもの健全育成					
	第15回	こども家庭福祉の動向と展望					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期				
科目名	こどもの指導法「造形表現」	授業形態	演習	単位数	1 単位				
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無	○						
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師								
授業のねらい (到達目標)	1. 保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 2. 乳幼児の表現活動の大切さと発達段階を踏まえた造形的な表現の特徴が理解できる。 3. 乳幼児の造形表現活動の展開と援助のあり方を学び、保育者としての知識と技術が習得できる。								
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現の特徴を理解する学習をする。さらに材料・用具、手法をもとに「えがく」「つくる」「造形あそび」などの題材や環境構成、援助のあり方についての知識と製作体験とを関連づけながら学習を深める。								
テキスト	造形表現論(豊岡短期大学)								
授業計画	第1回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園 教育・保育要領における「表現」領域及び小学校との連携(「図画工作」の学習指導要領)							
	第2回	造形教育の思想と指導法の推移及びこどもの発達段階における表現の特徴							
	第3回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価							
	第4回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価							
	第5回	教材研究を伴う製作Ⅰ(えがく)							
	第6回	教材研究を伴う製作Ⅰ(えがく)							
	第7回	教材研究を伴う製作Ⅰ(つくる)							
	第8回	教材研究を伴う製作Ⅰ(つくる)							
	第9回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)							
	第10回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)							
	第11回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)							
	第12回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)							
	第13回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)							
	第14回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ							
	第15回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ							
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%		10%	15%		
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	教育実習	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	1. 実習生の姿勢・態度 ・マナーを守り、意欲的に取り組む ・礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ ・自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める ・実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む ・「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする ・「個」と「集団」に積極的にに関わり、観察し学びを深める 2. 知識及び技能 ・幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む ・3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む ・保育におけるPDCAサイクルを理解する ・ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す ・幼児の言動から心情を感じとりながら、関わるができる 3. 実習日誌 ・各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる ・幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる ・幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる ・「気づき」を書く事ができる ・保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる ・「個」と「集団」の姿を記録できる ・幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる 4. 指導案 ※教育実習Ⅰでは、記録に重点を置き、指導案は教育実習Ⅱの課題とする ・子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げるができる ・導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる 5. 手続きと提出物 ・期日を守り、自主的に進められる ・期日を確認し、計画的に進められる				
授業概要	実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。 教育実習Ⅰでの経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の等の基準に基づく) 及び実習日誌を総合して評価をする。 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	子どもの食と栄養	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	萱場 佳代	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	企業での調乳・離乳食指導、特定保健指導、母親教室、料理教室講師 新潟市 母子保健事業、特定保健指導、学校等での出張授業講師 他						
授業のねらい (到達目標)	子どもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性と、それぞれの時期に応じた食事の知識を習得し、食育につなげていけるものとする。						
授業概要	基本的な栄養・食生活の知識を学ぶ。 離乳食から幼児期への子どもの発育発達と、それぞれの時期に応じた栄養補給、食事の知識を学ぶ。 食育の重要性を学び、子どもたちへの伝えかたを考える。 実際に調整粉乳、離乳食、幼児食の調理を行い、形態や味を確認する。 乳幼児期における食物アレルギーについて学ぶ。						
テキスト	「こどもの食と栄養」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	栄養に関する基礎知識(五大栄養素の体内での働き)					
	第2回	ビタミン・ミネラルの種類・働き・食品					
	第3回	母乳栄養(初乳・長所・短所・母乳不足)					
	第4回	人工栄養(調整粉乳・フォローアップミルク・特殊ミルク)					
	第5回	離乳の定義、離乳食の進め方と注意点					
	第6回	幼児期の栄養・食生活					
	第7回	間食の必要性と与え方					
	第8回	幼児期の栄養・食生活上の問題と対応					
	第9回	乳幼児期の食物アレルギー					
	第10回	食育の必要性(ねらいと内容)					
	第11回	食育の実践					
	第12回	実習(調乳・離乳食の調理)					
	第13回	実習(幼児食の調理)					
	第14回	実習(間食の調理)					
	第15回	まとめ 期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	環境	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2・子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義					
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育					
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める					
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成					
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事					
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境					
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①					
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②					
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③					
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性					
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い					
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)					
	第15回	校外学習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	言語表現	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 2. 保育現場における児童文化財の重要性を考え理解し、保育士・幼稚園教諭に求められる専門知識技術・言語表現力を高める。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した模擬保育の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。						
授業概要	自己紹介絵本制作を通して、児童文化財への理解を深めると共に、制作技術の向上を図る。 絵本の読み聞かせを通して、自身の保育観に沿った絵本選びを行い、実践的な技術を習得する。 以上2点を通して、保育観の醸成、自己分析を行う。						
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 領域「言葉」の内容の確認					
	第2回	子どもの言葉を育むさまざまな児童文化財 様々な絵本の種類 子どもの発達に合わせた絵本の選び方					
	第3回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊び					
	第4回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第5回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第6回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第7回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第8回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第9回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第10回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第11回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第12回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第13回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第14回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第15回	まとめ 児童文化財を生かしたさまざまな保育実践 児童文化財を生かした保育の展開					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科		実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	乳児保育Ⅱ		授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	原田 明子		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園、保育園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう実践的指導を行う。							
授業のねらい (到達目標)	1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。							
授業概要	1. グループワークを通じ、3歳未満児の発達やそれに沿った保育者の関わりを知る 2. DVDの事例から、子どもの言動や保育者の関わりの方針を個人、グループ、クラス全体で考察する。 3. 養護が教育の一部であること、すべての経験が学びとなっていることを理論的に考察する。							
テキスト	「乳幼児保育」、保育所保育指針							
授業計画	第1回	乳児保育の基本 乳児の特徴						
	第2回	養護と教育の一体化						
	第3回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と乳児保育						
	第4回	乳児の発達① グループワーク						
	第5回	乳児の発達② グループワーク						
	第6回	乳児の発達③ グループワーク						
	第7回	乳児の発達④ グループワーク発表						
	第8回	単位認定試験						
	第9回	模擬保育指導案 立案①						
	第10回	模擬保育指導案 立案②						
	第11回	模擬保育指導案 グループ討議						
	第12回	模擬保育準備①						
	第13回	模擬保育準備②						
	第14回	模擬保育						
	第15回	模擬保育						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科		実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	社会的養護Ⅱ		授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	渡邊 みゆき		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。							
授業のねらい (到達目標)	「社会的養護Ⅰ」で学んだ社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 施設養護及び家庭養護の実践について理解する。 社会的養護における虐待防止と家庭支援について理解する。							
授業概要	スクーリングによる体験的な授業で、主としてコミュニケーション力、リーダーシップなど必要な技術とネットワーク運営のための技術を身につける。							
テキスト								
授業計画	第1回	オリエンテーション						
	第2回	子どもの最善の利益、意見表明権、子どもの権利を守る仕組み(演習)						
	第3回	資質と倫理(演習)						
	第4回	施設養護の体系						
	第5回	児童養護施設(演習)						
	第6回	乳児院(演習)						
	第7回	母子生活支援施設(演習)						
	第8回	障害児入所施設(演習)						
	第9回	児童自立支援施設(演習)						
	第10回	児童心理治療施設(演習)						
	第11回	家庭養護・家庭的養護の体系						
	第12回	里親(演習)						
	第13回	地域小規模児童養護施設(演習)						
	第14回	社会的養護の現状と課題						
	第15回	まとめ						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実践を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴					
	第8回	非言語コミュニケーション					
	第9回	自己覚知(演習)					
	第10回	価値観(演習)					
	第11回	記録(演習)					
	第12回	社会資源(演習)					
	第13回	事例分析①					
	第14回	事例分析②					
	第15回	事例分析③					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅰ（保育）	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい （到達目標）	●実習生の姿勢態度 ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことが出来る ●知識、技能 ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる（部分実習準備の充実） ・生活・遊びを促すための援助（かかわり）ができる ●実習記録 ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことが出来る ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。（部分、責任） ●提出物 ・約定期日を守り、計画的にすすめる。				
授業概要	実際に保育所の生活を体験する中で、保育所の機能、保育所での乳幼児の生活とその流れ、保育士の職務と役割、「養護」と「教育」を一体として行う保育所保育の基本等について理解できるように指導する。				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価（出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づく）、及び実習日誌を総合して評価をする。上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅰ（施設）	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい （到達目標）	1. 実習生の姿勢・態度 ・人権を理解し尊重する態度を身につける。 ・施設実習を通して自己の成長を目指す。 ・観察することの意味を理解して実践する。 2. 知識及び技能 ・信頼関係を築くための技能を身につける。 ・施設の役割と社会的な位置づけを知る。 ・施設の現状（生活・職員の役割）を理解する。 3. 実習日誌 ・実習日誌の意義・記入上の諸注意について理解する。 ・記録の取り方・記入の仕方を学ぶ。 4. 指導案 ・部分実習の具体例を学ぶ。 5. 手続きと提出物 ・期日を守り、自主的に進められる。				
授業概要	施設での生活や療育を実際に体験する中で、施設の機能や施設での生活と流れを知り、子ども・利用者を理解し、援助の仕方や方法、施設保育士の職務等について理解できるよう指導する。				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価（出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づく）、及び実習日誌を総合して評価をする。上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する。				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期				
科目名	保育実践演習	授業形態	演習	単位数	2 単位				
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○					
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。								
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。								
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。								
テキスト	「保育・教職実践演習」(豊岡短期大学)								
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か							
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点							
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待							
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育							
	第5回	日本における保育実践上の課題について④ 統合保育							
	第6回	日本における保育実践上の課題について⑤ 異年齢保育							
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について							
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について							
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について							
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について							
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①							
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②							
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③							
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて							
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か							
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%		10%	15%		
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期				
科目名	幼児体育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1 単位				
担当教員	山田 すみ江	実務経験の有無	○						
実務経験教員の経歴	保育士、幼稚園教諭、母親学級講師、スポーツインストラクター経験を生かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。								
授業のねらい (到達目標)	・子どもの発達過程と運動遊びの関係を理解する。 ・運動遊びの種類及び、さまざまな局面で遊びが子どもの成長・発達(社会性・感情を含む)に与える影響を理解し、具体的な援助方法を取得する。 ・子どもが安全に楽しく運動遊びに取り組むための環境づくりについて理解する。								
授業概要	グループ毎に、発達過程に応じた運動遊びを考え発表することで、運動遊びと発達の関係の理解を深める。また、子どもたちが主体的に楽しく、安全に遊びを展開したり、深めたりする援助方法を学ぶ。								
テキスト	保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説・認定こども園教育・保育要領解説								
授業計画	第1回	自然を取り入れた遊び(水遊び・雪遊び)や戸外や森での遊びについて(講義)							
	第2回	固定遊具を使った遊び1(すべり台・ジャングルジム・上り棒等)							
	第3回	固定遊具を使った遊び2(鉄棒・ブランコ等)							
	第4回	ボールを使った遊び1(小さいボール・やわらかいボール・大量のボール等)							
	第5回	ボールを使った遊び2(大きいボール・さまざまなボール等)							
	第6回	身近な遊具を使った遊び1(縄、フープ、輪等)							
	第7回	身近な遊具を使った遊び2(新聞紙、タオル、ハンカチ等)							
	第8回	大型遊具を使った遊び1(跳び箱、マット、平均台等)							
	第9回	大型遊具を使った遊び2(複数の遊具の組み合わせによる運動、ゲームボックス、巧技台等)							
	第10回	サーキット遊び(遊具を組み合わせたサーキット遊び)							
	第11回	じゃんけん遊び(遊具を使用しないじゃんけん遊び・遊具を使用したじゃんけん遊び)							
	第12回	鬼ごっこ(氷鬼、助鬼、色鬼、手つなぎ鬼、かげふみ鬼、ドロケイ等)							
	第13回	身体表現によるわらべ歌遊び(かごめかごめ、はないちもんめ、とうりゃんせ、あぶくたった等)							
	第14回	身体表現による伝承遊び1(ケンケンパー、馬跳び、缶けり等)							
	第15回	身体表現による伝承遊び2(独楽まわし、お手玉、けん玉、おはじき等)							
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%		10%	15%		
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科		実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	音楽表現Ⅲ		授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	石川美穂・川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	音を間違う、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。							
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。							
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」							
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第8回	中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科		実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	音楽表現Ⅳ		授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	石川美穂・川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	音を間違う、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。							
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。							
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」							
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第8回	中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	●実習生の姿勢態度 ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことができる ●知識、技能 ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことができる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任) ●提出物 ・約束期日を守り、計画的にすすめる。				
授業概要	●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づく)、及び実習日誌を総合して評価をする。上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する。				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	●実習生の姿勢態度 ・施設の方針を理解の上、保育者とこども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する ・保育実習の経験を活かし主体的に動く。 ●知識、技能 ・信頼関係を気づくための技術を身につける ・施設の役割と社会的な位置づけを知る ・施設の現状(生活や職員の役割)を理解する ●実習記録 ・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことが出来る ・「個」と「集団」それぞれの姿を記録できる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ●指導案 ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。 ●提出物 ・約束期日を守り、計画的にすすめる。				
授業概要	●社会福祉施設における実習を通して施設におけるこども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。 ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づく)、及び実習日誌を総合して評価をする。上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する。				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。						
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。						
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等						
授業計画	第1回	保育実習の振り返りから教育実習への課題を明確にする					
	第2回	実習日誌の書き方を確認する 責任実習案の書き方を確認する①					
	第3回	実習日誌の書き方を確認する 責任実習案の書き方を確認する②					
	第4回	実習日誌の書き方を確認する 記録の書き方を確認する					
	第5回	実習日誌の書き方を確認する 記録の書き方を確認する					
	第6回	教育実習に必要な準備をする(模擬保育準備)③					
	第7回	教育実習に必要な準備をする(模擬保育準備)④					
	第8回	教育実習準備(模擬保育準備) 教育実習のファイルについて					
	第9回	教育実習の振り返りから施設実習への課題を明確にする					
	第10回	施設実習準備① 施設実習の意義や目的を自分なりにまとめる					
	第11回	施設実習準備②自分の実習施設について理解を深める					
	第12回	施設実習準備③施設実習」のめあてを自分の言葉でまとめる。オリエンテーションの準備					
	第13回	施設実習準備④実習記録や指導案の書き方を確認する					
	第14回	施設実習準備⑤個々に必要な準備を行う					
	第15回	施設実習準備⑥個々に必要な準備を行う					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。						
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。						
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等						
授業計画	第1回	教育実習や施設実習の経験を踏まえ、選択実習の準備に繋げる。					
	第2回	実習のめあてを決めて文章化する。オリエンテーション準備					
	第3回	実習記録や指導案について確認する。オリエンテーション準備					
	第4回	実習記録や指導案について確認する。環境構成のとらえ方					
	第5回	実習記録や指導案について確認する。考察について確認する					
	第6回	選択実習準備①					
	第7回	選択実習準備②					
	第8回	選択実習準備③					
	第9回	選択実習準備④					
	第10回	諸帳簿の記入について①(ヒヤリハット報告書・クラスだより)					
	第11回	諸帳簿の記入について②(行事計画書・連絡帳①)					
	第12回	諸帳簿の記入について③(連絡帳②)					
	第13回	諸帳簿の記入について⑤(週日案)					
	第14回	実習の振り返をする・外部実習について下学年に伝える(グループ活動)					
	第15回	実習の振り返をする・外部実習について下学年に伝える(グループ活動)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、実際に実務で必要となるWordの活用方法を習得し技術向上を図る。						
授業概要	1年次で学習した知識を元に、表作成とグラフィックスを含む文書を新規に作成する。 さらに、それを元に「おたより」の作成を行う。 題材は実際に幼稚園や保育園で作成したものを使い演習を行う。						
テキスト	Word2019ミナーテキスト基礎						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス 授業データインストール、新規文書の作成					
	第2回	文書の編集					
	第3回	表作成と編集					
	第4回	グラフィックスの利用					
	第5回	印刷、文書作成演習					
	第6回	おたより作成(作成の流れ、新規全体レイアウト作成、イラストと画像の挿入、書体、サイズと行間について1)					
	第7回	おたより作成(作成の流れ、新規全体レイアウト作成、イラストと画像の挿入、書体、サイズと行間について2)					
	第8回	おたより作成(作成の流れ、新規全体レイアウト作成、イラストと画像の挿入、書体、サイズと行間について3)					
	第9回	おたより作成(画像の加工、ペイントでできる写真の加工とかんたんお絵かき1)					
	第10回	おたより作成(画像の加工、ペイントでできる写真の加工とかんたんお絵かき2)					
	第11回	おたより作成演習1					
	第12回	おたより作成演習2					
	第13回	おたより作成演習3					
	第14回	おたより作成演習4					
	第15回	おたより作成演習5					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い技術指導を行う。 ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作					
	第2回	表の作成					
	第3回	四則演算と関数1					
	第4回	四則演算と関数2					
	第5回	表の編集1					
	第6回	表の編集2					
	第7回	ワークシートやブックの管理1					
	第8回	ワークシートやブックの管理2					
	第9回	ワークシートやブックの管理3					
	第10回	セルやセル範囲のデータ管理1					
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理2					
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理3					
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1					
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2					
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	テーブルとテーブルのデータの管理1					
	第2回	テーブルとテーブルのデータの管理2					
	第3回	テーブルとテーブルのデータの管理3					
	第4回	グラフの管理1					
	第5回	グラフの管理2					
	第6回	模擬1(演習)					
	第7回	模擬1(テスト)					
	第8回	模擬2(演習)					
	第9回	模擬2(テスト)					
	第10回	模擬3(演習)					
	第11回	模擬3(テスト)					
	第12回	模擬4(演習)					
	第13回	模擬4(テスト)					
	第14回	模擬5(演習)					
	第15回	模擬5(テスト)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	教育実習事後指導	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として、実際の教育現場で実習する。 ・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。 ・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。						
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。②幼児の生活や発達の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深めていく。③保育者に求められる専門的な知識が定着できるように学びを深める。④幼稚園教育をめぐる諸問題及び解決の為の取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、専門性の向上を図る。						
テキスト	「幼稚園教育実習事前・事後指導」豊岡短期大学、「保育者の常識67」、「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」						
授業計画	第1回	幼稚園教育実習全体の振り返り					
	第2回	部分実習指導案の作成にかかわる自身に課題の明確化。幼児の実態や指導のねらいについて、理解を深める。					
	第3回	部分実習指導案の作成にかかわる自身に課題の明確化。幼児の実態や指導のねらいについて、理解を深める。					
	第4回	一日実習の保育者(実習生)の役割や留意点について 部分実習指導案と一日実習指導案の違いと作成上の留意点について					
	第5回	一日実習の保育者(実習生)の役割や留意点について 部分実習指導案と一日実習指導案の違いと作成上の留意点について					
	第6回	模擬保育(一日)指導案作成について 対象年齢、幼児の姿、季節や時期、幼稚園の規模などについて					
	第7回	模擬保育(一日)指導案作成について 対象年齢、幼児の姿、季節や時期、幼稚園の規模などについて					
	第8回	教材研究(素材や材料の準備、実技)					
	第9回	教材研究(素材や材料の準備、実技)					
	第10回	実技の感想、課題をまとめる。(子どもとの関係、保育者との関係、保育の展開の仕方) 実習日誌や指導案の書き方について					
	第11回	実技の感想、課題をまとめる。(子どもとの関係、保育者との関係、保育の展開の仕方) 実習日誌や指導案の書き方について					
	第12回	評価「省察」方法について					
	第13回	評価「省察」方法について					
	第14回	保育者としての専門性を向より上させために、今後力を入れて取り組みたいこと					
	第15回	保育者としての専門性を向より上させために、今後力を入れて取り組みたいこと					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	環境論	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2・子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 「環境を通して行う教育」を理解し、意図ある環境構成の実践を行う。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解し、校外学習を通して環境構成の実践を行う。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第2回	身近な環境について考える①少子化					
	第3回	身近な環境について考える②メディア					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育 教師の願いを込める					
	第5回	環境の構成 校外学習計画①					
	第6回	校外学習①地域探検					
	第7回	環境の構成 校外学習計画②					
	第8回	環境の構成 校外学習計画③					
	第9回	環境の構成 校外学習計画④					
	第10回	校外学習②					
	第11回	校外学習②					
	第12回	校外学習②					
	第13回	校外学習②					
	第14回	まとめ・振り返り①					
	第15回	まとめ・振り返り②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						